

令和5年度 決算説明資料

1 歳入歳出決算総括表

(1) 歳入	P.	1
(2) 歳出	P.	3

2 重要施策の概要

P.	5
----	---

3 款項目別説明資料

(1) 一般会計(議案第133号)	P.	25
(2) 後期高齢者医療特別会計(議案第134号)	P.	49
(3) 国民健康保険事業特別会計(議案第135号)	P.	57
(4) 市立病院機構病院事業債管理特別会計(議案第145号)	P.	71
(参考)負担金、補助及び交付金の支出状況	P.	77

保健医療局

1 歳入歳出決算総括表

(1) 歳入

○一般会計

予 算 科 目	予 算 現 額				調 定 額 (B)
	当初予算額	補正予算額	繰越財源 充 当 額	計 (A)	
17款 分 担 金 及 び 負 担 金	121	-	-	121	-
18款 使 用 料 及 び 手 数 料	1,806,613	-	-	1,806,613	1,658,949
19款 国 庫 支 出 金	8,600,623	8,204,993	1,029,135	17,834,751	16,964,132
20款 県 支 出 金	10,395,962	269,236	-	10,665,198	10,649,343
21款 財 産 収 入	1,731	-	-	1,731	1,835
22款 寄 附 金	33,570	-	-	33,570	44,142
23款 繰 入 金	6,000	-	-	6,000	3,608
25款 諸 収 入	1,216,773	79,198	-	1,295,971	1,227,486
26款 市 債	337,000	-	-	337,000	97,000
計	22,398,393	8,553,427	1,029,135	31,980,955	30,646,495

○特別会計

後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	22,248,492	2,687	-	22,251,179	22,061,609
国民健康保険事業 特 別 会 計	142,096,624	7,013,977	-	149,110,601	153,954,750
市 立 病 院 機 構 病 院 事 業 債 管 理 特 別 会 計	806,907	11,480,018	-	12,286,925	12,286,923
合 計	187,550,416	27,050,109	1,029,135	215,629,660	218,949,777

(単位：千円)

収 入 済 額	不 欠 損 額	収入未済額	翌 年 度 繰 越 額	差引過不足額	執 行 率
(C)	(D)	(B) - (C) - (D)	(E)	(C) + (E) - (A)	((C) + (E)) / (A)
-	-	-	-	△121	皆減
1,655,672	489	2,788	-	△150,941	91.6%
16,964,132	-	-	121,413	△749,206	95.8%
10,649,343	-	-	-	△15,855	99.9%
1,835	-	-	-	104	106.0%
44,142	-	-	-	10,572	131.5%
3,608	-	-	-	△2,392	60.1%
1,222,099	394	4,993	-	△73,872	94.3%
97,000	-	-	172,000	△68,000	79.8%
30,637,831	883	7,781	293,413	△1,049,711	96.7%

21,855,685	28,029	177,895	-	△395,494	98.2%
------------	--------	---------	---	----------	-------

148,825,011	936,956	4,192,783	-	△285,590	99.8%
-------------	---------	-----------	---	----------	-------

12,286,923	-	-	-	△2	100.0%
------------	---	---	---	----	--------

213,605,450	965,868	4,378,459	293,413	△1,730,797	99.2%
-------------	---------	-----------	---------	------------	-------

(2)歳出

○一般会計

予 算 科 目	予 算 現 額			
	当初予算額	補正予算額	前 年 度 か ら の 繰 越 額	予 備 費 支 出 及 流 用 増 減
3 款 こども育成費	7,093,972	1,186,323	-	-
1 項 こども育成費	7,093,972	1,186,323	-	-
4 款 保健福祉費	73,427,890	9,269,773	2,309,106	9,808
1 項 社会福祉費	18,322,384	89,718	-	-
2 項 保健衛生費	25,703,218	8,503,200	2,309,106	9,808
3 項 高齢福祉費	20,146,138	48,806	-	-
4 項 障がい福祉費	9,256,150	628,049	-	-
計	80,521,862	10,456,096	2,309,106	9,808

○特別会計

後 期 高 齢 者 医 療 計 特 別 会 計	22,248,492	2,687	-	-
国 民 健 康 保 険 事 業 計 特 別 会 計	142,096,624	7,013,977	-	-
市 立 病 院 機 構 病 院 事 業 債 管 理 計 特 別 会 計	806,907	11,480,018	-	-
合 計	245,673,885	28,952,778	2,309,106	9,808

(単位：千円)

	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
計 (A)	(B)	(C)	(A) - (B) - (C)	((B) + (C)) / (A)
8,280,295	8,175,774	-	104,521	98.7%
8,280,295	8,175,774	-	104,521	98.7%
85,016,577	80,072,357	454,785	4,489,435	94.7%
18,412,102	18,397,577	-	14,525	99.9%
36,525,332	31,693,682	454,785	4,376,865	88.0%
20,194,944	20,117,303	-	77,641	99.6%
9,884,199	9,863,795	-	20,404	99.8%
93,296,872	88,248,131	454,785	4,593,956	95.1%

22,251,179	21,682,525	-	568,654	97.4%
------------	------------	---	---------	-------

149,110,601	147,424,244	-	1,686,357	98.9%
-------------	-------------	---	-----------	-------

12,286,925	12,286,923	-	2	100.0%
------------	------------	---	---	--------

276,945,577	269,641,823	454,785	6,848,969	97.5%
-------------	-------------	---------	-----------	-------

2 重要施策の概要

5年度決算額
(前年度決算額)

1 健康づくりの推進

(8,492,837 千円
7,217,994 千円)

1 超高齢社会に対応する健康づくりの推進

(13,652 千円
12,903 千円)

生活習慣病や健康増進に関する知識普及のため、保健福祉センターや公民館等で健康教育や健康相談を実施した。
高齢者の多様な健康問題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、フレイル予防や生活習慣病の重症化予防など、保健事業と介護予防の一体的な実施を推進した。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
健康教育・健康相談	3,958	○生活習慣病予防や健康増進に関する知識普及のため、保健福祉センターや公民館などで健康教育や健康相談を実施	○生活習慣病予防や健康増進に関する知識普及のため、保健福祉センターや公民館などで健康教育や健康相談を実施 ・健康教育(40～64歳) 実施回数:1,548回 参加人数:20,452人 ・健康相談(40～64歳) 実施回数:628回 参加人数:9,137人
高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施【後期特会】	9,694	○後期高齢者への保健事業を継続実施するとともに、医療・介護・健診データを活用した保健事業と介護予防事業を連携し、全区でモデル事業を実施 ・生活習慣病重症化予防事業 ・低栄養改善事業	令和6年度の本格実施に向けて、モデル事業を実施 ○いきいき食生活事業 ・保健指導実施者:58人 ・翌年度維持・改善者:26人 ○生活習慣病重症化予防事業 ・実施者:180人 ・受診者数(R6.3月時点):30人 ○通いの場等で、フレイル状態者を把握し、必要な支援へつなげるモデル事業を全区15圏域で実施 ・フレイル予防健康教育実施数:293人 ・フレイル質問票実施数:246人

2 生活習慣病対策の推進

1,241,105 千円
(1,221,868 千円)

生活習慣の改善を図るため、栄養・食生活、喫煙、飲酒対策に取り組むとともに、歯・口腔の健康づくりについては、関係機関の資源を活用しながら、各ライフステージの特性に応じたプロジェクトを実施し、国民健康保険事業においては、運動・食生活改善の個別支援プログラムを実施した。

糖尿病・高血圧等の生活習慣病については、特定健診の受診率・特定保健指導の実施率向上に取り組むとともに、生活習慣病の予防、重症化予防の保健指導を推進した。

また、加入保険に関わらず、市民全体の生活習慣病の早期発見、重症化予防のため、医療保険者や医療関係者等と連携した啓発や仕組みづくりに取り組んだ。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
栄養・食生活対策	23,197	○食生活改善推進員の養成、成人・高齢者に対する栄養指導や相談、減塩に関する広報・啓発や健康料理教室などを実施 ○料理教室や普及啓発イベントの開催、健康・食育パートナーズ店舗の普及	○食生活改善推進員養成教室 8教室 ○親と子の料理教室:7回 ○地域食生活改善講習会:80回 ○SNSを活用した啓発(動画配信) 27本 ○食育イベント、パネル展 6月、9月、10月、2月 ○健康・食育パートナーズ店舗 160店舗(R5年度末)
喫煙対策	13,709	○たばこの害に関する普及啓発や世界禁煙デーに併せた啓発イベントなどを実施 ○受動喫煙対策に関する普及啓発、改正健康増進法に基づく届出受付、標識交付、通報受付、現地確認、指導などを実施	○世界禁煙デーや健康づくり月間における周知・啓発、健康づくりサポートセンターでの禁煙教室、たばこ対策情報サイト等を活用した啓発を実施 ○受動喫煙対策 ・コールセンター相談:235件 ・WEB・市民の声等:101件 ・調査員派遣:76件 ・標識交付:42件 ・喫煙可能施設届出受付:21件
飲酒対策	277	○生活習慣病のリスクを高める量の飲酒に関する広報啓発、適正飲酒指導を実施	○イベント等にて広報啓発や各区にて適正飲酒指導を実施 ・適正飲酒指導者数:34人

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
歯・口腔の健康対策	57,796	○市民の歯科疾患を予防し、口腔機能の向上を図るため、歯科口腔保健事業を実施 ・歯科節目健診 ・妊婦歯科健診 ・乳幼児歯科健診 など	○各種歯科健診実施 ・歯科節目健診 受診者数:1,952人 ・妊婦歯科健診 受診者数:4,892人 ・乳幼児歯科健診 受診者数:50,670人
☆ オーラルケア28(にいはち)プロジェクト	27,475	○治療よりも予防に重点をおいた、エビデンスに基づく全世代の歯と口腔の健康を守るプロジェクトを、産学官オール福岡で実施	○ライフステージに応じた歯科口腔保健の取組みを実施 (乳幼児・学齢期向け) ・歯みがき・定期通院を習慣づけるため、(株)ポケモン・歯科医師会と連携し、グッズの配布や、無料健診を提供 健診受診者数:511名 ・放課後児童クラブ等に歯科衛生士を派遣し、口腔に関するクイズやオーラルケアグッズの配布等を実施 参加者数:3,691名 (成人期向け) ・産婦歯科健診 受診者数:2,238名 ・18～20歳向け歯科健診 受診者数:1,675名 (高齢期向け) ・口腔ケアの実践拡大のため、介護職を対象に、口腔ケアに関する動画の配信及び講習会等を実施
☆ 生活習慣改善推進事業【国保特会】	6,496	○肥満の改善による生活習慣病の早期予防・改善のため、BMI25以上の方に、フィットネス施設において、対象者に合わせた運動や食事の支援を約3ヶ月間行うプログラムを実施 ・定員 100人	○定員をこれまでの2倍に拡大し、市内のフィットネス施設において、4期に分けて実施。来館型とオンライン型の選択制 ・定員:210人 ・個別プログラム実施者数:206人 ・個別支援終了者数:158人 ・生活習慣改善者数:100人

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
糖尿病・高血圧などの生活習慣病対策	349,320	«一般会計» ○30歳代を対象に生活習慣病予防のための健診及び保健指導（よかドック30＆ヘルシースクール）を実施 ○健康づくりサポートセンターを設置・運営し、糖尿病の重症化リスクが高い人への栄養・運動指導、治療中断防止の取組みなどを実施 «国保特会» ○健診結果から、生活習慣病の重症化リスクが高い未治療者への保健指導及び医療機関の受診勧奨を実施 ○健診結果やレセプトデータを活用し、糖尿病の重症化リスクが高い人への保健指導及び医療機関の受診勧奨を実施	«一般会計» ○よかドック30＆ヘルシースクール ・よかドック30受診者数:3,701人 ・ヘルシースクール受講者数:70人 ○健康づくりサポートセンター事業 各種健康教室、特定健診、各種がん検診、よかドック30、骨粗鬆症検査及び糖尿病重症化予防事業の実施 «国保特会» ○生活習慣病重症化予防事業 ・受診勧奨者数:1,200人 ・治療開始者数:299人 ○糖尿病性腎症重症化予防事業（未治療者対策） ・受診勧奨者数:956人 （治療中断者対策） ・受診勧奨者数:259人 ・治療再開者数:55人
一般会計	326,476		
国保特会	22,844		
★ 保険者・医療関係者連携による生活習慣病重症化予防事業【国保特会】	16,410	【新規】	○慢性腎臓病（CKD）について重症化予防の取組みを実施 ・「福岡市生活習慣病重症化予防連携推進会議」の開催 ・医療連携ワーキング（4回） ・医療連携試行事業を実施 ・通院継続支援ガイドの作成 ・市民啓発
特定健診・特定保健指導事業【国保特会】	746,425	○生活習慣病予防のための健診、その結果に応じた適切な情報提供及び特定保健指導を実施 ○特定保健指導の遠隔実施モデル事業を実施	○特定健診 ・受診者数:54,732人 ・受診率:27.6%（速報値）

3 女性の健康づくりの推進

7,419 千円
(4,359 千円)

ロコモティブシンドローム（運動器症候群）など女性には特有の健康問題が存在し、その対策が必要であることを踏まえ、女性の健康づくりに関する正しい知識の普及・啓発や予防に向けた取組みを推進した。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
女性の健康づくり推進事業	7,419	○主に50～60歳代の市民を対象に、ロコモ予防に関する取組み・啓発を実施 ○30～50代女性の運動習慣定着化に向け、様々な生活シーンで活用できる運動動画コンテンツを制作し、広報・啓発を実施	○女性の運動習慣定着化やロコモ予防の啓発を目的とした取組みを実施 ・エクササイズ体験教室の開催(全8回) ・動画「ながらエクササイズ」を活用した広報・啓発 ・「アラカンフェスタ」にてロコモ予防ブースを設置

4 次世代の健康づくりの推進

7,125,745 千円
(5,887,740 千円)

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子ども医療費の助成対象を高校生世代までに拡大し、全ての子どもたちが安心して医療を受けられる環境づくりを推進した。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
☆ 子ども医療費助成	7,125,745	○子ども医療費助成を実施 ・通院医療費助成 3歳未満(自己負担なし) 3歳以上中学校3年生まで(※) ※500円/月まで(1医療機関) ・入院医療費助成 中学校3年生まで(自己負担なし)	○令和6年1月に制度改正を行い、助成の対象を高校生世代(※)まで拡大 ※18歳の誕生日前日以後の最初の3月31日まで ・通院医療費助成 3歳未満(自己負担なし) 3歳以上高校生世代まで(※) ※500円/月まで(1医療機関) ・入院医療費助成 高校生世代まで(自己負担なし)

5 こころの健康づくりの推進

(42,898 千円
39,228 千円)

健康相談や訪問指導等を行うとともに、ひきこもり支援として、ひきこもり成年地域支援センター等において相談支援体制の確保を図った。

自殺対策については、自殺予防に関する相談支援を強化するとともに、「福岡市自殺対策総合計画」に基づき、ゲートキーパーの養成や自殺予防週間等における啓発など、自殺対策を総合的に推進した。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
精神保健相談・訪問指導事業	8,231	○心の健康相談、訪問指導、母子精神保健相談を実施	○各区にて各種相談及び訪問指導を実施 ・相談受付件数:138,062件 ・家庭訪問件数:507件
ひきこもり対策推進事業	18,764	○成人期のひきこもり者への支援を実施 ・ひきこもり成年地域支援センターの設置、運営業務委託を実施 ・ひきこもりサポート事業の運営業務委託を実施	○成人期ひきこもり地域支援センター事業 ・相談件数:1,716件 ・グループ支援:64回(173人) ・ネットワーク会議:2回 ○ひきこもりサポート事業 ・相談件数:319件
☆ 自殺対策	15,903	○うつ病予防教室、ゲートキーパー養成講座、自殺予防キャンペーン、自殺対策推進センター事業の実施	○女性のうつ病予防を盛り込んだ「うつ病予防教室」を各区で実施 ・実施回数:18回 ・参加者数:269人 ○ゲートキーパー養成研修を実施 ・実施回数:19回 ・参加者数:1,707人 ○自殺対策総合計画の改定

6 地域や職場などでの健康づくりの推進

(34,458 千円
31,151 千円)

校区担当制による保健師活動を中心に、地域の特性に合わせた健康づくり講座や運動・栄養・休養等のプログラムを提供する事業を実施するとともに、地域組織や自主グループ等と行政の共働により住民主体の健康づくりを推進した。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
地域健康づくり事業	34,180	○地域における健康づくりを推進する衛生連合会の活動を支援するとともに、各種団体と連携した住民参加による健康づくり事業を実施	○地域における健康づくりを推進する衛生連合会の活動支援 ・研修会、情報交換会、表彰大会の開催など ○各種団体と連携した住民参加による健康づくり事業の実施 ・ウォーキング、講演会、パネル展、健康食の啓発など
校区保健福祉事業懇談会	278	○地域の健康づくりに関わる多様な団体と保健福祉センター職員などで、地域の健康課題や保健福祉事業について協議を実施	○地域の健康づくりに関わる多様な団体と保健福祉センター職員などで、地域の健康課題や保健福祉事業について協議 ・149校区（地区）2,137人

7 健康づくり支援の仕組みと環境づくり

(27,560 千円
20,745 千円)

健康無関心層も含め、市民が健康づくりに関心を持ち、「自然に」「楽しみながら」取り組むことができるよう、ICT等を利活用するとともに、行政・企業・大学等が連携し、エビデンスやデータも活用しながら様々な健康づくり支援の仕組みづくりを推進した。
また、日常の暮らしの中で、自然と体を動かし健康になれるまちづくりを推進した。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
☆ 健康づくりチャレンジ事業	24,278	○市民が健康づくりに関心を持ち、「自然に」「楽しみながら」取り組むことができるよう、様々な健康づくり支援の仕組みづくりを実施 ・健康づくり月間における広報・啓発 ・ウォーキングなどの健康づくりイベント ・健康づくりスポーツサイトによる情報発信	○10月健康づくり月間 ・イベント参加者数:5,511人 ・「おもしろい運動会」の開催 参加人数:174名、76組 ・市政だより、ポスター、タブロイド紙、SNS等を活用した広報・啓発 ○ポストコロナに向けた健康づくりに関する情報をSNSなどの様々なツールを活用し発信 ○2月生活習慣病月間や3月女性の健康週間などの機会を捉えた健康づくりに関する情報発信
Fitness City プロジェクト	3,282	○ハード整備による仕組みづくりとソフト施策による仕掛けづくりの両面から、市民の身体活動量の増加へアプローチする取組みを検討 ○博多駅周辺をパイロットエリアとし、道路や公園、駅などの身近な環境を活用した自然と楽しく体を動かしたくなる仕掛けづくりを実施 ・駅階段への上りたくなるデザインの設置 ・公園で体を動かせるイベントの開催	○パイロットエリアにおいて身近な環境を活用した、自然と楽しく体を動かしたくなる仕掛けづくりを実施

5年度決算額
(前年度決算額)

2 医療環境の整備

(9,826,127 千円
9,026,122 千円)

1 救急医療体制・災害時の保健医療体制の充実

(1,679,883 千円
1,848,698 千円)

市立急患診療所を設置し、休日等における急病患者に適切な医療を提供するとともに、医師の働き方改革を踏まえた人材確保を図った。また、災害時における医療を確実に提供するため、医療供給体制の検討や訓練を実施し、医師会や福岡県等の関係機関との協力体制の構築を図った。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
急患診療対策	1,679,883	○休日等における急病患者に適切な医療を提供するために、急患診療所等運営事業を実施 ○急患診療センターにおいて新型コロナウイルス感染症にかかる診療・検査を実施	○急患診療所等運営事業を実施 ・医科 患者数:66,390人 ・歯科 患者数:696人

2 難病対策の推進

(3,813,580 千円
3,336,143 千円)

難病患者の経済的な負担を軽減するため、新たに医療費助成の対象期間を前倒しするとともに、医療費助成を安定的に継続して実施した。

また、人工呼吸器使用患者など在宅で療養する重症難病患者に対して、公費による訪問看護等の経済的な支援を行うとともに、介護している家族に対しても支援の充実に取り組んだ。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
☆ 難病対策	3,813,580	○指定難病の患者に対する医療費の助成申請の受付、認定及び支給を実施 ○難病相談支援センター及び保健福祉センターにおいて、難病患者に対する相談・支援等を実施 ○在宅で人工呼吸器を使用している指定難病の患者のうち医師が認めた患者に対して、診療報酬における訪問回数の上限を超えた訪問看護を委託により実施	○医療費助成の申請受付、認定・支給を実施 ・申請受付件数:18,438件 ・受給者証所持者数:12,384人(令和6年3月末) ○難病相談、医療講演会等を実施 ・実施回数:43回 ・参加者数:1,209人 ○在宅で人工呼吸器を使用している指定難病の患者のうち医師が認めた患者に対して、診療報酬における訪問回数の上限を超えた訪問看護を委託により実施 ・人数:18人(令和6年3月末) ・実施回数:3,163回

3 がん対策の推進

1,748,339 千円
(1,245,940 千円)

各種がん検診の実施、受診率の向上及び検診の精度管理や、がんについての知識や検診の重要性についての啓発など、がんの早期発見・早期治療の効率的・効果的な推進に取り組むとともに、がん患者、その家族及びがん患者会への支援に取り組んだ。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
がん検診	1,131,242	○各種がん検診を実施しながら、がん検診の受診率向上を図るため受診勧奨等を実施 ・各種がん検診の実施 ・個別勧奨ハガキによる受診勧奨 ・がんの知識や検診の重要性についての啓発 ○働く世代のためのがん検診推進事業の実施 ・無料クーポン券事業（国事業）として、対象女性にクーポン券を配布 ○35, 40歳への胃がんリスク検査（ピロリ菌検査等）の実施	○受診者数:179,690人 ・胃がん検診:28,536人 ・大腸がん検診:39,647人 ・子宮頸がん検診:54,700人 ・乳がん検診:21,230人 ・肺がん検診:18,012人 ・前立腺がん検診:17,565人 ○うち無料クーポン券利用者数 ・子宮頸がん(20歳):1,435人 ・乳がん(40歳):2,648人 ○胃がんリスク検査:2,845人
☆ 子宮頸がん予防	606,971	○子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨により、対象者への接種を推進するとともに、積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方へのキャッチアップ接種を実施	○子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨により、対象者への接種を推進するとともに、積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方へのキャッチアップ接種を実施 ・定期接種:7,717件 ・キャッチアップ接種:9,567件
骨髄等移植ドナー助成事業	1,560	○骨髄・末梢血幹細胞移植を推進するため、骨髄等移植ドナーに対して助成を実施	○骨髄等の提供者の休業による経済的負担を軽減するために通院及び入院1日につき2万円を助成 ・助成件数:9件
がん患者等への支援	8,566	○小児・AYA世代がん患者在宅療養生活支援事業の実施 ・40歳未満のがん患者を対象に、訪問介護、福祉用具貸与・購入等に要する費用の一部を助成 ○アピアランスケア推進事業の実施 ・がん患者等を対象に医療用ウィッグや補整具等の購入費用の一部を助成	○小児・AYA世代がん患者在宅療養生活支援事業 ・利用決定者数:15人 ○アピアランスケア推進事業 ・助成件数 医療用ウィッグ:377件 補整具等:105件

4 市立病院等の充実

2,513,933 千円
(2,531,532 千円)

福岡市立こども病院においては、小児に係る地域医療、救急医療及び高度専門医療を担う小児総合医療施設として、小児医療及び周産期医療のさらなる充実を図った。

福岡市民病院においては、高度専門医療を担う地域の中核病院としての機能を維持し、高度救急医療のさらなる充実を図るとともに、福岡市における新型コロナウイルス感染症対応の中核的役割を果たした。また、福岡市民病院の現状や公立病院を取り巻く医療環境の変化等を踏まえ、あり方の検討を推進した。

島しょ診療所については、関係機関と連携し、担当医師等を安定的に確保し、島民の健康保持に必要な医療を提供した。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
☆ 市立病院事業	2,374,307	○地方独立行政法人福岡市立病院機構において、こども病院及び市民病院の市立2病院を運営	○地方独立行政法人福岡市立病院機構において、こども病院及び市民病院の市立2病院を運営 ○市民病院の現状や公立病院を取り巻く医療環境の変化等を踏まえ、あり方を検討
島しょ診療所運営事業	139,626	○島民の健康保持に必要な医療を提供するため、島しょ診療所運営事業を実施 ・能古診療所 ・玄界診療所 ・小呂診療所	○島しょ診療所運営事業を実施 ・能古診療所 患者数:3,494人 ・玄界診療所 患者数:1,665人 ・小呂診療所 患者数:80人

5 医療安全等対策の推進

(69,558 千円
63,312 千円)

医療に関する患者や家族等からの相談に適切に対応するとともに、医療施設における院内感染や事故防止のための研修会の開催、医療施設や薬事施設に対して良質で安全な医療の提供に向けた指導や情報提供を行った。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
医療安全相談窓口	8,168	○各区保健所に相談窓口を設置し、医療に関する市民からの相談などに対応 ○病院及び診療所の管理者又は従業者を対象に行う医療の安全に関する研修を実施	○医療安全相談の相談件数(地域医療課、各区衛生課合計):1,274件 ○医療施設向け研修会 ・開催件数:1回(動画12日間公開) ・参加者数:320回(視聴回数)
医務事務	53,336	○医療法などの関係法令に基づき、医療施設の開設申請等に対する許可や立入検査を実施	○医療施設等(病院、診療所、助産所、施術所、歯科技工所、衛生検査所)及び医療法人に対して許可や立入検査を実施 ・許可件数:599件 ・届出件数:4,493件 ・監視件数:947件
薬務事務	8,054	○医薬品医療機器等法などの関係法令に基づき、薬事施設(薬局や医薬品販売業等)の開設申請等に対する許可や立入検査を実施	○薬事施設(薬局、医薬品販売業、医療機器販売業、毒物劇物販売業等)に対して許可や立入検査を実施 ・許可件数:823件 ・届出件数:6,966件 ・監視件数:1,041件

6 外国人にもやさしい保健医療環境の推進

(834 千円
497 千円)

福岡市に在住する外国人や福岡市を訪れる外国人が、安心して生活・滞在できるよう、外国人向けの医療環境向上に取り組んだ。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
医療の国際化に関する事業	834	○外国人向け医療環境向上のため、電話による医療通訳サービス等を提供	○「福岡市医療通訳コールセンター」を設置、運営し、電話通訳や医療情報提供などのサービスを実施

**5年度決算額
(前年度決算額)**

17,253,773 千円
(25,663,443 千円)

3 健康で安全な暮らしの確保

1 感染症対策の推進

14,563,461 千円
(23,042,680 千円)

感染症発生動向調査による情報収集や発生時における感染拡大防止等の防疫活動を実施するとともに、感染症患者の早期発見・早期治療を目的としたエイズ・性感染症等の各種検査事業や、感染症の拡大防止等のための各種予防接種を実施した。

新型コロナウイルス感染症については、国の方針等を踏まえ、相談ダイヤルの運営や医療介護施設従事者等に対するスクリーニング検査等を実施した。

また、今後の新興感染症の発生に備え、改正感染症法に基づく予防計画の策定など感染症の危機管理体制の強化に取り組んだ。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
一般防疫	22,479	○感染症発生動向調査による情報収集及び発生時における感染拡大防止などの防疫活動を実施	○感染症に関する相談対応、社会福祉施設等を対象とした研修会の実施 ○感染症発生時に、拡大防止のため、患者・接触者などの健康調査、感染拡大防止の指導を実施 ・1～3類感染症発生届出数 腸チフス: 2件 腸管出血性大腸菌感染症: 88件
予防接種	4,601,697	○感染症の拡大防止等のための、予防接種法等に基づく各種予防接種を実施	○感染症の発生やまん延の予防のため、各種の予防接種を実施 ・小児: 330,857人 ・高齢者: 207,819人 ・成人: 4,465人
エイズ・性感染症対策	25,579	○HIV感染者、エイズ・性感染症患者の早期発見・早期治療のため、検査事業・相談対応を実施	○各区保健所における平日検査に加え、休日即日検査を実施するなど、検査・相談体制の強化に努め、エイズ・性感染症患者の早期発見・早期治療を推進 ・HIV検査: 2,880件 うち HIV休日即日検査: 351件 ・梅毒検査: 2,342件
結核対策	132,267	○患者の発生動向を正確・迅速に把握しながら、積極的疫学調査に基づき、感染源・感染経路の究明を的確に行い、確実な接触者健診を実施 ○すべての患者に対し、治療完遂に向けた患者支援を実施	○患者の発生動向を正確・迅速に把握しながら、積極的疫学調査に基づき、感染源・感染経路の究明を的確に行い、確実な接触者健診を実施 ・接触者健診: 2,201人 ○すべての患者に対し、治療完遂に向けた患者支援を実施

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
肝炎対策	56,237	○ウイルス性肝炎の早期発見・早期治療のため、医療機関と連携し、検査事業を実施	○ウイルス性肝炎の早期発見・早期治療のため、医療機関と連携し、検査事業を実施 ・B型肝炎ウイルス検査:12,521人 ・C型肝炎ウイルス検査:12,523人
☆ 健康危機管理対策	682	○世界で発生が懸念される新型インフルエンザ等に備え、市対策行動計画に基づき、防疫対応マニュアルを作成するなど感染症危機管理体制を整備	○市の感染症対策の方向性を示す「福岡市感染症予防計画」を策定 ○世界で発生が懸念される新型インフルエンザ等に備え、防疫用装備の整備など感染症危機管理体制を整備
新型コロナウイルス感染症対策 (ワクチン接種)	7,992,089	○新型コロナウイルス感染症の蔓延防止を図るため、市民にワクチン接種を実施	○医療機関等との調整や集団接種会場の設置・運営などを行い、新型コロナウイルスワクチン接種を実施 ・総接種回数(令和3年度～令和5年度)約480万回
新型コロナウイルス感染症対策 (検査体制)	440,040	○検体採取を集中的に行う地域外来・検査センターの運営 ○感染拡大期における、陽性と診断した医療機関での陽性者の同居家族等への検査を実施 ○保健環境研究所で実施する核酸検出検査の試薬等の購入 ○保健環境研究所への検体の搬送 ○検査結果管理システムの運用 ○医療施設従事者に対する無料検査を実施 ○保険適用検査に係る自己負担相当額への公費負担を実施 ○福岡県及び保健所設置市（福岡市、北九州市、久留米市）が連携し、感染拡大期等の発熱外来のひっ迫対策としてキット配付・陽性者登録センターを設置	○新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い各事業終了 ・保険適用検査 公費負担支払件数:143,527件（5類移行以前の保険適用検査） ・医療施設従事者に対する無料検査:202,981件（令和6年3月末まで継続）

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
新型コロナウイルス感染症対策 (陽性者への支援)	1,256,686	○自宅療養者へ往診やオンライン診療等を行う医療機関を支援し、陽性者への医療提供体制を確保 ○自宅療養者へのパルスオキシメーターの貸与や食料品などの配付による生活支援を実施 ○自宅療養者専用ダイヤルの運営 ○新型コロナウイルス感染症軽症患者の宿泊療養施設等への搬送 ○入院医療に係る自己負担相当額への公費負担を実施	○新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い各事業終了 ・物資配付実績 パルスオキシメーター:103個 体温計:4個 支援物資:97組 ・入院医療費公費負担 支払件数:6,090件 (5類移行以前の入院医療費)
新型コロナウイルス感染症対策 (保健所体制)	34,375	○保健所への専門職派遣を実施 ○相談ダイヤルの運営 ○陽性者急増時等における外部人材の活用 ○転院支援調整本部の運営 など	○新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い各事業終了 ・相談ダイヤル相談件数:45,750件 (令和6年3月末まで継続) ○転院支援調整本部運営 ・調整件数:18件
新型コロナウイルス感染症対策 (その他)	1,330	○新型コロナウイルス感染症に係る広報・啓発を実施 ○外国人からの相談に対応するため、電話による通訳業務委託を実施 ○市内各施設等において緊急に必要な衛生資材等の備蓄及び配付を実施	○WEB広告の製作・配信、広報物の作成・配布など広報啓発等を実施 ○新型コロナウイルス外国人相談ダイヤルの運営 ・電話対応件数:129件 (令和6年3月末まで継続)

2 薬物乱用及び薬物依存症の対策の推進

(3,833 千円
5,299 千円)

薬物に対する正しい知識の普及啓発を行うなど、市民が大麻等の害悪に巻き込まれることがないように薬物乱用防止対策を推進した。

薬物等の依存症に関する相談や、依存症本人の回復プログラム、家族教室等を開催するとともに、支援機関や自助グループとの連携を進め、薬物等の依存症対策に取り組んだ。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
薬物乱用対策	1,407	○関係者間との薬物乱用防止対策推進協議会の設置、啓発イベントなど薬物乱用防止に係る啓発事業を実施	○関係団体、行政、警察、大学などを委員とする薬物乱用防止対策推進協議会を開催 ○学校への啓発資材配布(大学・短期大学・専修学校):4,860部 ○薬物乱用防止NO DRUG, KNOW DRUGキャンペーンイベントや街頭キャンペーンの実施
薬物依存症対策	2,426	○薬物依存症回復支援プログラム、依存問題(薬物等)を抱える家族のための教室、専門相談(面接)などを実施	○薬物依存症回復支援プログラム ・実施回数:19回(41人) ○依存問題(薬物等)を抱える家族のための教室 ・実施回数:16回(66人)

3 食品衛生の推進

(115,566 千円
114,334 千円)

食の安全を確保するため、飲食店等に対する監視・指導や食品の検査を実施するとともに、HACCPに沿った衛生管理を推進した。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
飲食店等への監視指導	115,566	○飲食店等に対する監視・指導や食品の検査 ○HACCPに沿った衛生管理の推進	○監視状況 ・対象施設:45,473施設 ・監視件数:48,061件 ○収去検査検体数:2,504検体 ○食品等事業者向け講習会受講者数 ・対面式:1,429人 ・オンライン:3,310人

4 環境衛生の推進

(911,413 千円
903,107 千円)

市民の健康で安全な暮らしを確保するため、旅館や公衆浴場等の環境衛生施設等に対する監視指導に取り組むとともに、施設管理者による継続的な衛生管理を促すことにより、衛生水準の向上を図った。

また、福岡市葬祭場においては、効率的な施設運営に取り組んだ。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
環境衛生施設等に対する監視指導	16,697	○健康で安全な市民生活の確保を図り、レジオネラ症等の健康被害を未然に防止 ・関係法令に基づく環境衛生関係施設の届出受理、営業許可、立入検査等 ・健全な民泊の普及推進 ・社会福祉施設等の衛生指導	○監視状況 ・対象施設:31,890施設 ・監視件数:3,429件 ○衛生指導の状況 ・助言件数:530件
葬祭場の管理運営	894,716	○福岡市葬祭場の管理運営を実施 《葬祭場概要》 ・所在:南区松原6丁目1-1 ・施設:火葬炉26炉, 待合室20室, 告別室6室, 収骨室6室	○火葬状況 ・稼働日数:363日 ・火葬件数:12,683件 (大人:12,665件、小人:18件)

5 動物の愛護・適正飼育の推進

(81,853 千円
65,151 千円)

ボランティア・ペットショップ・獣医師等との連携共働のもと、飼い主等に対して継続的な適正飼育の啓発を行うとともに、動物愛護管理センターが収容した犬・猫については、適切な譲渡を推進していくことにより、殺処分の更なる削減を進めた。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
★ 犬の登録手続きDX	3,300	【新規】	○飼い犬登録システムを改修し、マイクロチップを装着した犬の登録手続きをオンライン化 ・犬の登録頭数 4,964頭(オンライン) 1,322頭(窓口)
動物の愛護・適正飼育の啓発	56,124	○「福岡市動物愛護管理推進実施計画」に基づく、動物の愛護・適正飼育の普及啓発に関する事業を実施	○動物の愛護・適正飼育の普及啓発に関する事業を実施 ○犬猫の収容及び措置状況 ・収容数:369頭(犬71 猫298) ・措置数:378頭(犬74 猫304) (措置数の内訳) ①返還: 53頭(犬44 猫9) ②譲渡:152頭(犬25 猫127) ③引取等後の死亡:41頭(犬2 猫39) ④治癒の見込みがない病気等での殺処分:132頭(犬3 猫129) ⑤実質的殺処分:0頭
☆ 犬猫譲渡推進事業	13,729	○収容犬猫の殺処分の削減に向け、ミルクボランティア、譲渡サポート店制度等の譲渡事業を推進 ○地域猫活動の継続的支援を実施	○ミルクボランティアによる離乳前子犬・子猫の哺育を実施し、希望者に譲渡 ・ミルクボランティア総登録数:116組 ・離乳前子猫の哺育頭数:63頭 ・哺育後子猫の譲渡頭数:62頭 ○譲渡サポート店総登録数:16店舗 ○預かりボランティア制度を実施 ・預け頭数:19頭(犬5 猫14) ○地域猫活動への支援 ・支援地域:25地域 (新規4、更新21)
★ 飼い主のいない猫等の不妊去勢手術推進モデル事業	8,700	【新規】	○飼い主のいない猫や多頭飼育者の猫への不妊去勢手術支援を試行的に実施 ・飼い主のいない猫:34件、514頭 ・多頭飼育者の猫:8件、76頭

6 保健衛生・環境分野に関する試験・研究等の推進

(253,123 千円
253,573 千円)

市民の健康と良好な環境を守るため、新型コロナウイルスの全ゲノム解析を行うなど、感染症の発生の予防及びそのまん延防止、食品の安全性の確保、水質・大気等に関する試験検査並びに調査研究に取り組んだ。

また、市民への学習の機会を提供するため、保健環境学習室「まもるーむ福岡」において体験型学習の実施及び情報の発信に取り組んだ。

★：新規、☆：拡充

事業名	決算額(千円)	事業内容	
		これまでの取組み	5年度の成果、効果等
保健衛生・環境分野に関する試験・研究	234,493	○新型コロナウイルス感染症の検査体制を拡充 ○感染症、食品等に関する試験検査及び調査研究を実施 ○水質・大気等に関する試験検査及び調査研究を実施	○感染症等に係る微生物検査 25,817件(37,581項目) ○食品衛生等に係る理化学検査 3,547件(42,701項目) ○水質・大気等に係る検査 1,855件(20,148項目)
保健環境学習の推進	18,630	○保健環境学習室「まもるーむ福岡」における体験型学習の実施及び情報の発信	○保健や環境に関する講座 年40回実施、参加者1,049人